



導出先候補企業募集要領

DNW-13002

平成 31 年 2 月 12 日

国立研究開発法人日本医療研究開発機構

創薬戦略部創薬企画・評価課

国立研究開発法人日本医療研究開発機構創薬戦略部創薬企画・評価課（以下「創薬企画・評価課」という。）は、国内の大学や公的研究機関等（以下「大学等」という。）で生み出された研究成果の実用化を加速することを目的として、これらの研究成果のうち、国立研究開発法人日本医療研究開発機構創薬戦略部（以下「創薬戦略部」という。）が医薬品としての実用化の可能性が高いと判断した創薬シーズに対し、創薬のための研究戦略の策定、技術支援、知財管理の実施、企業導出に関する助言など、実用化を目指したシームレスな支援を行う創薬支援推進事業－創薬総合支援事業（創薬ブースター）－を実施しています。

今般、国立研究開発法人日本医療研究開発機構（以下「AMED」という。）は創薬戦略部が実施する創薬支援推進事業－創薬総合支援事業（創薬ブースター）－による支援テーマ「神経再生促進作用を持つ脊髄損傷治療薬の探索（課題番号：DNW-13002）」（以下「DNW-13002」という。）を導出テーマとすることとしました。導入後に国内上市を遅滞なく確実に実施することを前提に、医薬品として研究開発する目的で本テーマの導入を希望する製薬企業等を募集の上、最終的に導出先候補企業を選定します。

DNW-13002 は、別途公表している「創薬総合支援事業（創薬ブースター）における導出に関する基本的な考え方」（以下「基本的考え方」という。）に記載のとおり、支援テーマの主任研究者（Principal Investigator）（以下「PI」という。）が製薬企業等と共同研究を開始することも含め、導出先候補企業を選定します。

◆ 「創薬総合支援事業（創薬ブースター）における導出に関する基本的な考え方」

URL : <https://www.amed.go.jp/content/000006800.pdf>

1. 目的

医薬品として研究開発する目的で DNW-13002 の導入（PI との共同研究を含む。）を希望する製薬企業等を広く募集の上、最終的に導出先候補企業を選定します。

2. 募集・選定の概略と募集期間

導出先候補企業の募集・選定は次の5ステップからなっています。

ステップ1. 導入検討希望企業(DNW-13002に関する詳細情報の提供を希望する企業)

の募集:

平成31年2月12日(火)～平成31年3月11日(月)正午

ステップ2. 導入検討希望企業(DNW-13002に関するコンフィデンシャル資料の提供を希望する企業)の募集:

(今回の募集では省略します。)

ステップ3. 導入希望企業(ステップ1における詳細情報の評価後、導入を希望する企業)の募集:

平成31年2月19日(火)～平成31年3月25日(月)正午

ステップ4. 導出先候補企業(導入交渉を開始する企業)の選定:

平成31年4月下旬頃までを予定

ステップ5. 導出先企業の決定:

平成31年5月下旬頃までに導出交渉と導出に関する契約を締結し「導出先企業」を決定する

3. 応募資格

応募にあたっては、次の(1)～(3)の全ての要件を満たすことが必要です。

- (1) DNW-13002に関し、医薬品として研究開発する目的であること。
- (2) 医薬品の研究開発についての十分な知識、経験等を有していること。
- (3) 基本的考え方及び本募集要領を十分に理解していること。

4. 導出先候補企業募集・選定までの手続きの流れ

(1) ステップ1. 導入検討希望企業(DNW-13002に関する詳細情報の提供を希望する企業)の募集:

DNW-13002に関する詳細情報の提供を希望する製薬企業等は、「(別紙1)詳細情報提供申込書」に記入の上、電子メール等にてAMED創薬戦略部創薬企画・評価課宛(「6. 問合せ先」参照)に提出してください。(提出期限:平成31年3月11日(月)正午)

提出された内容を確認した後に、速やかに詳細情報をお送りします。

(2) ステップ2. 導入検討希望企業(DNW-13002に関するコンフィデンシャル資料の提供を希望する企業)の募集:

ステップ2.については、DNW-13002の導出先候補企業募集では省略させていただきます。

(3) ステップ3. 導入希望企業(詳細情報の評価後、導入を希望する企業)の募集:

ステップ1において詳細情報を評価した結果、DNW-13002の導入を希望する場合

は、「(別紙4) 導入交渉希望申込書」及び「(別紙5) 研究開発計画書」を電子メール等にてAMED創薬戦略部創薬企画・評価課宛(「6. 問合せ先」参照)に提出してください。(提出期限:平成31年3月25日(月)正午)

(4) ステップ4. 導出先候補企業(導入交渉を開始する企業)の選定:

導入希望企業が複数ある場合、基本的考え方6(1)の規定に基づき、上記(3)で提出された資料を創薬戦略部が総合的に評価した上で導出先候補企業を選定します。

なお、導出先候補企業の選定にあたってはヒアリングを実施する場合があります。その場合は平成31年4月3日(水)に実施する予定です。

(5) ステップ5. 導出交渉と導出に関する契約の締結:

導出交渉は、ステップ4において導出先候補企業を決定次第開始します。

契約の締結は、原則として、AMED、PIの所属機関及び導出先候補企業との間で行います。なお、契約締結後に必要な手続き等を行った上で、DNW-13002の創薬支援推進事業-創薬総合支援事業(創薬ブースター)-の支援は終了します。

5. 提出方法に関する留意事項

- (1) 申請書類を郵送により提出する場合は、簡易書留等により、提出期限までに到着するよう余裕をもって、郵送してください。
- (2) 提出に関する留意事項は次のとおりです。
 - ① 郵送により提出する場合は、申請書類を封入した封書等の表に、朱書きにて、『DNW-13002 申込書』と記載してください。
 - ② 申請書類の提出における事故等については、AMEDは一切の責任を負いません。
 - ③ 電子メールで提出を希望する場合、本文及び添付ファイルの合計が13MB以下としてください。なお、送信の際にはセキュリティ管理を適切に実施いただきますようお願いいたします。
 - ④ 提出期限を過ぎてからの提出は受け付けることができません。なお、やむを得ず持参する場合にはAMED創薬戦略部創薬企画・評価課宛(「6. 問合せ先」参照)に事前に電話連絡をお願いします。
 - ⑤ 提出された申請書類を修正することはできませんので、記載内容を十分にご確認の上、提出してください。
 - ⑥ 提出書類については、DNW-13002の導出活動以外の目的で利用しません。

6. 問合せ先

本募集要領の内容、応募の手続き等に関する問合せについて

(1) 問合せ先

国立研究開発法人日本医療研究開発機構 創薬戦略部 創薬企画・評価課 導出担当

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-5-5 室町ちばぎん三井ビル8F

電話：03-3516-6181 FAX：03-3516-6182

E-mail：id3desk@amed.go.jp

(2) 受付時間

平日 午前10時～12時、午後1時～5時

注) 選定状況等に関する問合せには一切回答できません。

7. その他

導出対象の製薬企業等が、暴力団（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団をいう。）又は代表者若しくは役員が暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第6号に規定する暴力団員をいう。）である団体又は暴力団若しくは暴力団員と密接な関係を有する団体に該当する場合には導出対象から除外します。

また、申請後発覚した場合でも同様とします。

(別添)

DNW-13002 の概要

課題番号 : DNW-13002

課題名 : 神経再生促進作用を持つ脊髄損傷治療薬の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

武内 恒成 (学校法人愛知医科大学医学部)

課題番号DNW-13002では、酵素Xを標的として、新たな脊髄損傷治療薬の創出に取り組んでいる。

創薬コンセプト :

脊髄損傷後の神経軸索再生を阻害するグリア性瘢痕の主要構成要素であるコンドロイチン硫酸プロテオグリカンの生成に関わる酵素Xの阻害剤は、新たな脊髄損傷治療薬となりうる。

ターゲットプロダクトプロファイル :

神経軸索再生を促すことにより、脊髄損傷患者の運動機能を改善する局所又は髄腔内投与治療薬 (アンチセンス核酸)

創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

以下のことがPIらにより報告されている。

- 1) 酵素Xのノックアウトマウスを用いて脊髄損傷モデルを作製し、その運動機能の回復を調べた結果、ノックアウトマウスでは野生型マウスに比べ顕著な回復が認められ、標的妥当性が示された。

創薬に向けたアプローチ (創薬ブースター支援で明らかになったこと) :

- 1) 酵素Xの阻害剤創出を目指して、アンチセンス核酸をデザイン・合成し、酵素XのmRNAノックダウン効果を指標にスクリーニングを実施した。
- 2) ヒト細胞を用いた2次スクリーニング系 (*in vitro* 瘢痕形成評価系) を構築した。
- 3) 酵素Xの発現を抑制するリード候補阻害剤を用いて、*in vitro* 細胞系で瘢痕形成の抑制が認められること、脊髄損傷モデルマウス及びラットにおいて運動機能

の改善が認められることを確認した。

- 4) リード候補アンチセンス核酸を絞り込み、*in vitro*、*in vivo*で有効性の評価を実施している。

特許出願：

酵素 X 阻害剤を出願済

テーマに関するお問い合わせは下記までお寄せください。

Principal investigator へのお問い合わせはご遠慮くださるようお願いいたします。

(問合せ先)

国立研究開発法人日本医療研究開発機構
創薬戦略部 創薬企画・評価課

E-mail : id3desk@amed.go.jp